

えぶろん指定管理 オープニングイベント



まいちよこ音頭を踊る参加者

4月18日(日)市山の「農産物加工施設・えぶろん」の指定管理オープニングイベントとして『富有の里春祭り』が開催されました。

当日は気持ちのいい春の陽気。「寄せ太鼓」の音に誘われ会場に行くと、焼きそばや水餃子、えぶろんで作ったお惣菜などがずらり。地域の方々はじめ約500人が会場に集まり「南部太鼓」「まいちよこ音頭」「ひよっこ踊り」などの出し物を楽しみました。今後は青空直産市なども開催する予定。地域の元気を生み出す活動拠点を目指します。あいみ富有の里地域振興協議会の田貝有史会長は「今後は新たな特産品作りにも力を入れたい。」と意気込みを語りました。

湖畔で休憩いかがですか？

緑水湖畔にある町営のレストハウスが、指定管理者が決定するまでの間、「穂のか」として営業しています。コーヒーやハーブティーなどの喫茶をはじめ、自家製のパンやシフォンケーキ、隠岐海苔やサザエを使ったおにぎりセットなどが食べられます。子どもさんからお年寄りまで色々な人がゆつくり集える場所です。

営業時間

平日10時～16時 / 土日9時～17時

／定休日 月曜日



落ち着いた雰囲気のレストランハウス



おにぎりセット

5000円

おめでとう！図書館20周年



チェロを演奏する永見邦子さん

南部町立図書館は今年開館20周年。4月25日(日)に開催された「宮沢賢治の一日」では、講演会やアニメ上映の他、音で楽しむ賢治の世界としてチェロの演奏にあわせた「セロ弾きのゴースト」の朗読やピアノの演奏にあわせた『やまなし』の朗読が行われ、幻想的な音の世界に観客を引き込みました。

『やまなし』を朗読した持本静子さんとピアノ演奏をした押村栄理子さんは、それぞれ「ゆったりした河の底を表現するよっ心がけた。」「以前からやりたかった、音による世界観の表現が出来て嬉しい。」と語りました。

雄大に泳ぐこいのぼり

毎年、4月下旬から5月半ばまで飾られている緑水湖のこいのぼり。年々数も減少気味：だったのが、今年は町内外からたくさんの方の寄付により昨年より数も増え、向こう岸まで全長およそ100メートルの間を150ものこいのぼりが飾られました。

湖上を春風に揺られ、気持ちよさそうに泳ぐこいのぼりは、訪れた人たちの目を楽しませていました。

《緑水園からのお願い》

飾らなくなった「こいのぼり」はありませんか？町内はもちろん町外からの寄付もお待ちしております。

「問い合わせ」緑水園66-5111まで



湖上を泳ぐこいのぼり